

④新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

「石狩産の農産物」を用いてテルツィーナ堀川シェフの技術を活かした北海道イタリアン菓子類の開発・販売事業

イタリア料理の名店「トラットリア・ピッツェリア テルツィーナ」のオーナーシェフで、北海道の食を牽引する料理人の一人、堀川氏の技術と経験を活かし、石狩産の農産物を使用した「北海道イタリアン菓子類」の開発、製造、販売により、自社及び産地ブランドの確立を目指す事業。

➤ 連携体

農林漁業者

北石狩農業協同組合(法人番号6430005005722)(農業)

組合員が生産する小麦、米、野菜等の多種多様な農産物を安定的に供給し、産地ブランドの強化を目指す。

中小企業者

(株)オンサイト(法人番号7430001058509)(飲食料品卸売業)

堀川シェフの経験と技術を活かして、旬の地元農産物を使用した菓子を企画し、自社ブランドの確立及び販路拡大を図る。

札幌シーフーズ(株)(法人番号4430001019942)、(株)北海道米菓フーズ(法人番号7450001010005)、(株)活里(法人番号9430001001144)、(株)ツカモトミルズ(法人番号3430001010596)、江別製粉(株)(法人番号4430001042390)、新札幌乳業(株)(法人番号6430001007417)(以上、食料品製造業)

連携参加者

新商品の原料となる米粉、小麦粉の製粉、野菜ペースト、乳製品等の加工及び供給し、本事業を支援する。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構北海道本部(法人番号 2010405004147)

➤ 連携の経緯

当別町が道の駅の整備を進めるなか、同施設内のレストランを堀川シェフが手掛けることになり、地元産の農産物を活用したメニューの開発を検討していた。一方、JA北いしかりも産地のアピールや地元産農産物を活用した加工品の開発、ブランド化に課題を抱えており、双方の課題解決を図るため、本連携事業に取り組むに至った。

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

(株)オンサイトの代表を務める堀川シェフは、JA北いしかりの「米」「小麦」「馬鈴薯」「野菜」「果物」等の素材の良さを最大限に活かし、「テルツィーナ」のブランドで「野菜のチーズケーキ」「野菜のブリュレ」「カッサータ風野菜ケーキ」「ライスクラッカー」等の北海道イタリアン菓子を開発する。

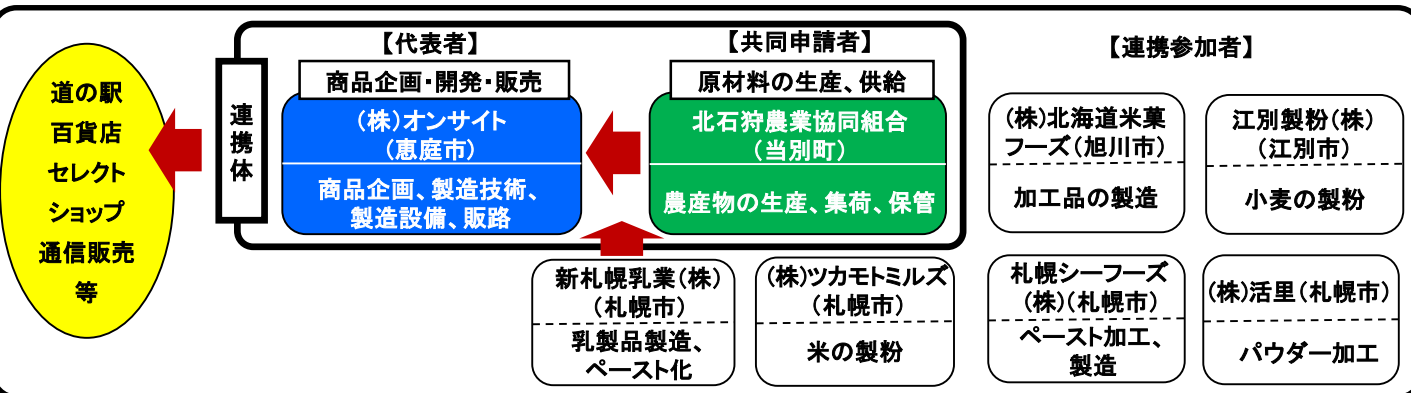
また、保存料等の添加物を使用しない商品を目指すとともに、「製造コストの削減」、「賞味期限」、「流通手法」及び「ブランドの統一化」などの課題解決に取り組む。

北海道を代表するシェフの技術と新鮮な野菜を生産する産地が連携し、高付加価値商品を開発することで差別化を図り、ブランディングや効果的な販売戦略を確立し、JA北いしかりの農産物を使った商品群の創出と新たな市場の獲得を目指す。

テルツィーナ 堀川シェフ



北海道イタリアン菓子(例)



➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で約11,226万円の売上高増加。

農産物の安定した販路や用途の確保による、地域農産物の需要拡大、産地ブランドの向上。

中小企業者

5年で約4,910万円の売上高増加。

素材の良さをシンプルに活かした新商品の開発による、自社ブランドの確立、新たな販路の獲得。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社オンサイト
TEL：0123-25-5165
E-mail：waichi-s@on-sight.jp

所在地：北海道恵庭市島松寿町1丁目28番地10号
FAX：0123-25-5167
ホームページ：-